



名掛丁の名称は、江戸時代に伊達藩の「御名懸組（おなかけぐみ）」という武士団の屋敷が置かれたことに由来します  
この地域は、仙台城下町の東の守りとして重要な役割を担っていました

## みちのく支部総会 行ってきました

日時：2026年2月7日（土） 15:00~18:00

会場：串カツ「たま」名掛丁店\* @仙台市

参加人数：18名（含本部2名）

昼過ぎに仙台駅に到着しました。手元のスマホで見ると、曇り・気温-0.9度しかなく強い冷え込みを感じました。まずは牛たん、と駅構内の牛たん通りへ向かうと、どの店も大行列（´;ω;`）ウウ、。。さて、今回の会場は、西口から近くの名掛丁（ナカチヨウ）センター街にある大衆居酒屋「たま」です。

総会は猪俣博之さん（32期）の流暢な司会で始まり、小原文男みちのく支部長の開会宣言後、宮城そして東北全体の活動報告がなされました。続いて校友会本部よりご挨拶と近況報告が小野崎英事務局から、また母校の近況報告が高梨祐太郎ダバシティダ共創センター係長より、すてきな資料をもとに報告がありました。

その後、懇親会は瀬川光蔵さん（1期）の元気な乾杯の音頭で開演しました。岩手・山形・福島支部からも参加いただき、小原支部長のお付き合いの広さを感じました。おいしいお酒を片手に、思い出話や近況報告、白熱した議論??に花が咲きました。。





最後は全員で肩を組んでの校歌斉唱で締めくり、「**流经愛**」がしっかりと胸に刻まれ散会となりました

